

平成 27 年度

荒尾市の教育に関する事務の管理及び  
執行の状況に関する点検・評価報告書

平成 29 年 2 月

荒尾市教育委員会

## 荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価

### 1. 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、荒尾市教育委員会がその権限に属する事務の管理および執行の状況について点検および評価を行い、その結果に関する報告書を公表し、市民に信頼される効率的・効果的な教育行政の推進することを目的とする。

### 2. 方法及び基準

(1) 「荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱」に基づき、事業ごとに「必要性」「効率性」「目標達成度」について基本評価を行い、これをもとに今後の方向性として総合評価を行う。

#### (2) 評価基準

①基本評価（必要性・効率性・目標達成度）の基準

評価項目	評価	評価の視点	
必要性	A	市民等のニーズが高く必要な事業である	○市民や対象事業者等にとって必要な事業か ※目的の妥当性、市民のニーズ ※他に類似の事業はないか
	B	法令等で定められ、またはある程度ニーズがあり必要性が高い	
	C	市民等のニーズはあるが、実状に適応しなくなっている部分がある	
	D	市民等のニーズや実状に全く適応しておらず不要な事業である	
効率性	A	実施手法は適切で、見直す必要はない	○事業実施の手法は適切か ※事業費に見合った成果が得られているか ※類似の事業を実施している他の自治体等と比べてどうか
	B	実施手法は概ね適切である	
	C	実施手法は概ね適切であるが、一部見直しが必要である	
	D	実施手法を大幅に見直す必要がある	
目標達成度	A	十分達成できた	○計画及び目的通りに目標を達成できたか
	B	概ね達成できた	
	C	やや不十分であった	
	D	不十分であった	

②総合評価（今後の方向性）の基準

総合評価		評価
A (拡 充)	十分な事業水準にあり、かつ必要度も高く、事業の拡充が必要	
B (継 続)	一定の事業水準にあり、今後も効率化を図りつつ、現在の事業水準を維持する	
C (見直し)	事業の必要性はあるが、その手法・執行体制等の見直しが必要	
D (完 了)	事業が完了	
E (廃 止)	事業を廃止	

3. 対象事業

点検及び評価の対象とする事業は、教育委員会の権限に属する予算事業を対象。

平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書

事業名	事業の目的(目標・効果)	事業の内容	担当部署	事業の対象者	事業費(千円)		受益状況			総合評価	評価の説明等
					H26	H27	必要経費	受益児童	自修児童数		
1 留学指導外国語青年招致事業	外国語教育の充実を図るとともに、青少年海外交流による国際化の促進を図る。国際化の進展に伴って、本市より海外へ出向する児童・生徒の増加を促進し、国際化の発展に資する。	A1を市内の小中学校に配置し、外国語指導者の招聘、国際語研修教育の補助、児童・生徒の海外活動への参加及び海外への留学を奨励し、国際化の発展に資する。	教育課国際課(学務係)	市内小中学校児童生徒	15,046	14,055	A	B	B	B	費用の超過が交付申請書類に認められなかった。本年度は、3名(男子)の児童が参加した。ネイティブの先生による英語の授業や学校行事等において、多くの子供たちが英語を学ぶことができた。また、海外文化や習慣についても学ぶことができた。また、外国語指導者の招聘や研修費用の補助も必要であった。今後も国際化の発展に資する事業として、積極的に取り組んでいく必要がある。
2 特別支援教育総合推進事業	各専門機関との連携を図りながら、特別支援教育の更なる充実を目指す。	研修会・講演会などの研修や、保護者、幼稚園及び小中学校における特別支援教育の推進を図る。特別支援教育に関する研修会や、保護者会やPTAでの研修を行う。	教育課国際課(学務係)	障がいのある児童・児童生徒	40	105	B	B	B	B	特別支援教育の推進を図るため、保護者や関係機関との連携を図る。また、特別支援教育に関する研修会や、保護者会やPTAでの研修を行う。また、特別支援教育に関する研修会や、保護者会やPTAでの研修を行う。また、特別支援教育に関する研修会や、保護者会やPTAでの研修を行う。
3 小学校維持管理(OA機整備上掛)		平成27年度導入分の記録用紙の更新、入替する。新たに小学校記録用紙やタブレットを整備する。	教育課国際課(庶務係)	市内小中学校児童生徒	3,584	4,527	A	A	A	B	記録用紙の更新や、タブレットの整備を行う。また、記録用紙の更新や、タブレットの整備を行う。また、記録用紙の更新や、タブレットの整備を行う。
4 小学校施設改修	学校施設は生徒が一日の大半を過ごす、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割を担っている。その役割を確保し、安全な環境を整える。また、施設を有効に活用し、地域との連携を図る。	学校施設のトイレ及び排水設備からの水漏れ、ガラスや鉄骨の劣化等の不具合や、設備の改修・修繕工事、施設内の安全対策を行う。	教育課国際課(庶務係)	小学校施設利用者	14,584	13,401	A	A	B	B	学校施設のトイレ及び排水設備からの水漏れ、ガラスや鉄骨の劣化等の不具合や、設備の改修・修繕工事、施設内の安全対策を行う。また、施設内の安全対策を行う。
5 特別支援教育支援員事業	特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を派遣し、特別支援教育の推進を図る。	特別支援教育支援員を派遣し、特別支援教育の推進を図る。また、特別支援教育支援員を派遣し、特別支援教育の推進を図る。	教育課国際課(学務係)	市内小中学校児童生徒	18,656	22,945	A	B	B	A	特別支援教育支援員を派遣し、特別支援教育の推進を図る。また、特別支援教育支援員を派遣し、特別支援教育の推進を図る。
6 荒尾市視覚援助事業	経済的負担により視覚障害児の教育を受ける機会を失っている児童・生徒の救済を図る。また、視覚障害児の教育を受ける機会を失っている児童・生徒の救済を図る。	視覚障害児の教育を受ける機会を失っている児童・生徒の救済を図る。また、視覚障害児の教育を受ける機会を失っている児童・生徒の救済を図る。	教育課国際課(学務係)	対象児童	39,269	39,167	A	B	A	B	視覚障害児の教育を受ける機会を失っている児童・生徒の救済を図る。また、視覚障害児の教育を受ける機会を失っている児童・生徒の救済を図る。
7 学力充実研修指定校事業(小学校)	学力充実研修指定校事業を実施し、学力の向上を図る。また、学力充実研修指定校事業を実施し、学力の向上を図る。	学力充実研修指定校事業を実施し、学力の向上を図る。また、学力充実研修指定校事業を実施し、学力の向上を図る。	教育課国際課(学務係)	市内小中学校児童生徒	211	256	B	B	B	B	学力充実研修指定校事業を実施し、学力の向上を図る。また、学力充実研修指定校事業を実施し、学力の向上を図る。
8 中央小学校特別教育課制事業	中央小学校特別教育課制事業を実施し、特別教育の推進を図る。また、中央小学校特別教育課制事業を実施し、特別教育の推進を図る。	中央小学校特別教育課制事業を実施し、特別教育の推進を図る。また、中央小学校特別教育課制事業を実施し、特別教育の推進を図る。	教育課国際課(学務係)	中央小学校児童	150	0	B	B	B	B	中央小学校特別教育課制事業を実施し、特別教育の推進を図る。また、中央小学校特別教育課制事業を実施し、特別教育の推進を図る。
9 スクールソーシャルワーカー運営事業	スクールソーシャルワーカーの活用を図り、児童・生徒の生活支援を図る。また、スクールソーシャルワーカーの活用を図り、児童・生徒の生活支援を図る。	スクールソーシャルワーカーの活用を図り、児童・生徒の生活支援を図る。また、スクールソーシャルワーカーの活用を図り、児童・生徒の生活支援を図る。	教育課国際課(学務係)	市内小中学校児童生徒	999	999	B	B	B	B	スクールソーシャルワーカーの活用を図り、児童・生徒の生活支援を図る。また、スクールソーシャルワーカーの活用を図り、児童・生徒の生活支援を図る。
10 コミュニティスクール推進事業	コミュニティスクールの推進を図り、地域との連携を図る。また、コミュニティスクールの推進を図り、地域との連携を図る。	コミュニティスクールの推進を図り、地域との連携を図る。また、コミュニティスクールの推進を図り、地域との連携を図る。	教育課国際課(学務係)	荒尾第一小学校児童生徒	47	39	B	B	A	A	コミュニティスクールの推進を図り、地域との連携を図る。また、コミュニティスクールの推進を図り、地域との連携を図る。
11 コミュニティスクール導入事業	コミュニティスクールの導入を図り、地域との連携を図る。また、コミュニティスクールの導入を図り、地域との連携を図る。	コミュニティスクールの導入を図り、地域との連携を図る。また、コミュニティスクールの導入を図り、地域との連携を図る。	教育課国際課(学務係)	市内小中学校児童生徒	0	315	B	B	A	A	コミュニティスクールの導入を図り、地域との連携を図る。また、コミュニティスクールの導入を図り、地域との連携を図る。

平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書

Table with columns: 事業名, 事業の目的 (目的・効果), 事業の内容, 担当部署, 課長/担当者, 評価結果 (A, B, C), 評定の説明等. Rows include items like 中学校維持管理, 中学校施設改修, 中学校スクール改築事業, 心の教室相談員事業, 小中学校事業, 学校規模適正化事業, 総合センター管理費, 総合センター施設改修, 保健体育総務費, 運動公園管理費, 地域体育館維持管理費, 地域体育館施設改修費, 運動公園施設改修費, 社会教育振興費.



平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書

事業名	事業の目的（目標・別冊）	事業の内容	担当部署	事業の対象者	参加者数		参加状況		総合評価	評価の説明等	
					定員	実数	参加率	出席率			
42	宮崎兄弟の生家おもてなし向上事業	宮崎兄弟の生家を訪れる見学客（特に中国人）に対するおもてなしを向上し、宮崎兄弟の功績を国内外に広め、宮崎兄弟の生家を訪れる見学客の増加につなげる。	生涯学習課（文化係）	宮崎技見学客	H26 1,342	H27 1,529	A	A	A	B（継続）	中国人対応のガイドを配置する。 生涯学習課 宮崎技見学客
43	万田自然館運営費	万田自然館の適切な管理を行う。	生涯学習課（文化係）	施設利用者	6,369	6,330	A	A	A	B（継続）	平均35名から万田自然館運営費を削減し、万田自然館の維持管理を行う。また、万田自然館の歴史や文化について、万田自然館のホームページやパンフレットなどで紹介し、万田自然館の魅力を伝えることにより、万田自然館の認知度を向上させる。
44	万田自然館「エターニティ」管理費	万田自然館の歴史や文化について、万田自然館のホームページやパンフレットなどで紹介し、万田自然館の魅力を伝えることにより、万田自然館の認知度を向上させる。	生涯学習課（文化係）	施設利用者	16,984	8,439	A	A	A	B（継続）	万田自然館の歴史や文化について、万田自然館のホームページやパンフレットなどで紹介し、万田自然館の魅力を伝えることにより、万田自然館の認知度を向上させる。
45	荒尾市史活用事業	近頃成徳館に「築城500年」出版記念事業として、近頃成徳館の歴史や文化について、近頃成徳館のホームページやパンフレットなどで紹介し、近頃成徳館の魅力を伝えることにより、近頃成徳館の認知度を向上させる。	生涯学習課（文化係）	市民	100	103	A	A	A	B（継続）	近頃成徳館の歴史や文化について、近頃成徳館のホームページやパンフレットなどで紹介し、近頃成徳館の魅力を伝えることにより、近頃成徳館の認知度を向上させる。
46	孫文記念館交流事業	孫文記念館の歴史や文化について、孫文記念館のホームページやパンフレットなどで紹介し、孫文記念館の魅力を伝えることにより、孫文記念館の認知度を向上させる。	生涯学習課（文化係）	孫文記念館	1,200	3,309	B	A	B	B（継続）	孫文記念館の歴史や文化について、孫文記念館のホームページやパンフレットなどで紹介し、孫文記念館の魅力を伝えることにより、孫文記念館の認知度を向上させる。
47	宮崎兄弟研究事業	宮崎兄弟の歴史や文化について、宮崎兄弟のホームページやパンフレットなどで紹介し、宮崎兄弟の魅力を伝えることにより、宮崎兄弟の認知度を向上させる。	生涯学習課（文化係）	宮崎家祖遺家	53	263	B	A	A	B（継続）	宮崎兄弟の歴史や文化について、宮崎兄弟のホームページやパンフレットなどで紹介し、宮崎兄弟の魅力を伝えることにより、宮崎兄弟の認知度を向上させる。
48	地境未来塾事業	地境未来塾の歴史や文化について、地境未来塾のホームページやパンフレットなどで紹介し、地境未来塾の魅力を伝えることにより、地境未来塾の認知度を向上させる。	生涯学習課（文化係）	市内中学生	-	2,185	B	B	A	B（継続）	地境未来塾の歴史や文化について、地境未来塾のホームページやパンフレットなどで紹介し、地境未来塾の魅力を伝えることにより、地境未来塾の認知度を向上させる。
49	文化財普及啓蒙事業	市内に点在する有形・無形の文化財の歴史や文化について、市内に点在する有形・無形の文化財のホームページやパンフレットなどで紹介し、市内に点在する有形・無形の文化財の魅力を伝えることにより、市内に点在する有形・無形の文化財の認知度を向上させる。	生涯学習課（文化係）	市民	0	404	B	A	A	D（完了）	市内に点在する有形・無形の文化財の歴史や文化について、市内に点在する有形・無形の文化財のホームページやパンフレットなどで紹介し、市内に点在する有形・無形の文化財の魅力を伝えることにより、市内に点在する有形・無形の文化財の認知度を向上させる。
50	万田自然館世界遺産登録に伴う案内冊子制作事業	万田自然館の世界遺産登録に伴う案内冊子の制作を行う。	生涯学習課（文化係）	施設利用者	-	27,883	A	A	A	D（完了）	万田自然館の世界遺産登録に伴う案内冊子の制作を行う。
51	万田自然館世界遺産登録記念事業	万田自然館の世界遺産登録記念事業を行う。	生涯学習課（文化係）	市民をはじめ観光客	-	10,988	A	A	A	D（完了）	万田自然館の世界遺産登録記念事業を行う。

# 平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書に関する概評

事務点検評価委員：山本 孝司

事業名	概評
1 語学指導外国語青年招致事業	外国語に関しては、とりわけ小学校の次期学習指導要領においては現行学習指導要領が発展させられる形になる。これを受けてALT活用事業は引き続き重要な意義をもつものと思われる。
2 特別支援教育総合推進事業	「特別支援教育」に関しては講演等、学校スタッフのみならず保護者にも情報提供がかなり進んでいるものと思われるが、今後も必要に応じて随時講演会等の企画は必要であると思われる。
3 小学校維持管理 (OA機器借上料)	ICTを駆使した教育の必要性が唱えられる今日の状況にあつて、小中学校のPC等の環境整備等ハード面のみならず情報モラル教育等ソフト面の充実にも努められている点は評価に値します。
4 小学校施設改修	児童が安心安全に学校生活を送るうえで必要な項目であり、引き続き子どもたちの物的教育環境の整備に努めていただきたい。
5 特別支援教育支援員事業	発達障害等特別なニーズをもつ児童生徒への対応は、個人の教育権の保障のみならず学校運営、学級経営にとつても不可欠であるため、本事業に関して「拡充」の判断は妥当であると思われる。
6 荒尾市就学援助事業	経済格差が拡がるとともに「子どもの貧困」が社会問題としてクローズアップされる今日、すすべての子どもたちに教育権を保障する観点から本事業のもつ意味は大きくなっているとされる。
7 学力充実研修指定校事業 (小学校)	指定校の研究成果が荒尾市内の他の学校の授業にも反映されるよう努めていただきたい。
8 中央小学校特別教育編制事業	次期学習指導要領においてとりわけ小学校で外国語重視の傾向が強まるため、時間確保に努められ、継続して実施していただきたい。
9 スクールソーシャルワーカー運営事業	学校教育に福祉的視点による支援が必要になっており、今後も本事業の維持と可能であれば自治体で独自にSSWを採用する等の拡充を図っていただきたい。
10 コミュニティ・スクール推進事業	5カ年計画で小学校を中心に学校運営協議会の起ち上げに尽力されていますが、今後は中学校の起ち上げと、教育課程における小中連携も視野に入れて本事業を展開していただきたい。
11 コミュニティ・スクール導入事業	上とも関連しているが、「社会に開かれた教育課程」実現の中心となるようなCS構築ができるよう努めていただきたい。
12 中学校維持管理 (OA機器借上料)	校務の円滑化のため必要な項目だと思います。
13 中学校施設改修	生徒が安心安全に学校生活を送るうえで必要な項目であると思います。
14 中学校グローバル改築事業	生徒の教育効果を高めるために教育施設の改築は非常に重要であると考えます。
15 心の教室相談員事業	子どもの問題行動のうち「不登校」は少子化で子ども数は減っているものの最近では横ばいの状態である。こうした状況にあつて「心の教室」の存在は、不登校予防、支援に関して大変重要な意義をもつものと考ええる。引き続き児童生徒の支援にあたっていただきたい。
16 小袋教室事業	様々な理由により学校に行けなくなつてしまった子どもにとつて「小袋教室」は、彼らの教育ブラスエス上非常に重要な意味をもつている。引き続き継続して支援を行つていただきたい。
17 学校規模適正化事業	少子化の影響との関連で子どもたちにとつての適切な教育環境整備のために学校再編は喫緊の課題となつてきている。今後も引き続き丁寧な手続きで地域住民等関係者の合意が得られるよう努めていただきたい。
18 給食センター管理費	安心安全な学校給食の充実が子どもたちの食育にとつても要となるため、引き続き適切な運営管理に努めていただきたい。
19 給食センター施設改修費	上の適切な運営管理のため引き続き適切な環境整備を行つていただきたい。
20 保健体育総務費	学校教育における運動部活動の社会体育化にとめない、今後ますますの整備拡充が必要になつてくることか予想される。こうした動向に加え、生涯学習領域においても幅広い年齢層がスポーツにアクセスできるよう、場所の整備、物の管理、指導者等人の確保に継続して取り組んでいただきたい。



平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書に関する概評

事務点検評価委員：山本 孝司

事業名	概評
24 運動公園施設改修費	施設のコソナイシヨソから今後も突発的な対応が必要になることが予想される。その都度の適切な対応を期待する。
25 社会教育振興費	継続して団体の支援に当たると同時に文化団体、社会教育団体の活動のより一層の活性化を図っていただきたい。
26 放課後子ども教室推進事業	「放課後子ども教室」は、教育課程外の活動ではあるが、児童が地域住民から学ぶ非常に有意義な時間、空間であると考える。コーディネーターや支援員の確保に努められ、今後も事業を維持していただきたい。
27 学校支援地域本部事業	今後地域資源をフル活用し、学校と家庭・地域との連携体制の強化に努めていただきたい。
28 中央公民館管理費	指定管理者制度に代わったものの、社会教育の拠点として市民のニーズに応えられるよう今後も運営管理していただきたい。
29 中央公民館施設改修費	上に関連して、市民のニーズに応えられるようハード面の充実を図っていただきたい。
30 図書館管理費	市の知の拠点として様々な催しを企画されています。今後も図書館利用が活発になるよう市民の声を傾聴しつつ管理運営していただきたい。
31 少年指導センター管理費	非行のみならず、今日の若者の間では自己肯定感の低さから希死念慮をもつ者の割合が高いという研究結果もある。そうした若者の存在も視野に入れつつ、今後若者に寄り添っていただきたい。
32 万田坑・専用鉄道敷跡保存管理事業	世界遺産登録後も継続が必要であると考える。
33 三池炭鉱(旧万田坑)の世界文化遺産登録推進事業	
37 万田坑保存活用推進事業	
38 荒尾二造変電所跡地施設維持管理事業	学校教育(総合的な学習の時間等)、社会教育の領域(市民公開講座等)、あるいはイベント企画に積極的に取り上げて当該施設の市内外における知名度を高めてほしい。
39 宮崎兄弟の生家施設管理費	
40 宮崎兄弟の生家施設改修費	上に関連して、必要に応じて適宜今後も改修の要ありと認む。
41 宮崎兄弟顕彰事業	
42 宮崎兄弟の生家おもてなし向上事業	上に関連して、今後も継続して宮崎兄弟と関連施設についての市内外における知名度を高めていただきたい。
43 万田炭鉱館運営費	
44 万田坑施設・ステーション管理費	世界遺産登録を受けて、ますます一層重要な項目になる。
45 荒尾市史活用事業	教育基本法第2条題項(「伝統と文化を尊重し、それらをはばぐんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。1)に鑑み、学校教育(総合的な学習の時間)、生涯学習(市民公開講座)等、折に触れて郷土史を伝えていくことが重要であると考える。今後も継続して充実を図っていただきたい。
46 孫文記念館交流事業	学术交流で得られた成果が広く市民や観光での訪問者に還元されるよう努めていただきたい。
47 宮崎兄弟研究事業	「研究報告書」発刊はもちらんのこと、そこに示された成果が広く市民や観光での訪問者に還元されるよう努めていただきたい。
48 地域未来塾事業費	様々な要因で子どもたちの「学力格差」が拡がっている今日、彼らの学力保障を学校とともに地域で行なおうとする企画は非常に意義あるものと考える。引き続き継続して子どもたちの学力保障に努めていただきたい。
49 文化財普及啓発事業	今後、作成された「歴史マップ」を学校教育、生涯学習において活用できる「仕掛け」を考案いただきたい。

平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書に関する概評

事務点検評価委員：平島 廣幸

事業名	概評
1 語学指導外国語青年招致事業	小さい時から外国語や外国文化、外国人に慣れ親しむことは、将来の国際人養成の点から有意義。ALT人材の有効活用の観点から、授業外、例えば夏休集中などでの活動等はALT日本人だけでなく関係する団体・人などに大いに有効と思われるので、積極的機會提供に努めてもらいたい。
2 特別支援教育総合推進事業	個別対応は当然として、連携して、総合的に取り組むことは意義あることと考えられ、更なる取組みに期待したい。
3 小学校維持管理 (0A機器借上料)	今後とも、長期的視点に立って整備計画を立て、着実な整備が必要。基本評価オールAとなり、よかった。
4 小学校施設改修	児童のため、快適性・利便性・安全性の向上を継続して行く必要あり、また災害時の避難場所としての役割も果たすため、その観点からの対応も必要。課題は、エアコンや洋式トイレ化か？
5 特別支援教育支援員事業	現場からの切実な要望があり、予算上の制約はあるが極力応えていく努力を。直接必要とされる児童だけでなく、周辺の児童への好影響が期待できる。
6 荒尾市就学援助事業	援助の枠が若干ではあるが拡大されたことは好ましい。充実していくことを期待したい。
7 学力充実研修指定校事業 (小学校)	研究指定校制度により、当該学校だけのレベルアップにとどまらず、市内各校への波及効果が出、市全体の教育レベルが上がることを望む。
8 中央小学校特別教育編制事業	中央小だけにとどまらず、その効果が市内全校に広がることを願う。その方策を考え、実践していつてもらいたい。
9 スクールソーシャルワーカー運営事業	現下、児童やその家庭も含めいろいろな問題が噴出しており、SSWの重要性は増している。市内に1名で対応とのことであるが、人員的に十分であるか心配するところあり。
10 コミュニティ・スクール推進事業	国・県の方向性として、同事業推進がうたわれており、モデル校としての実績を十分検証し、さらなる充実、他校への展開を。
11 コミュニティ・スクール導入事業	上記に同じ。中学校との連携など、全体的計画の研究は進められているのか。
12 中学校維持管理 (0A機器借上料)	今後とも、長期的視点に立って整備計画を立て、着実な整備が必要。基本評価オールAとなり、よかった。
13 中学校施設改修	児童のため、快適性・利便性・安全性の向上を継続して行く必要あり、また災害時の避難場所としての役割も果たすため、その観点からの対応も必要。課題は、エアコンや洋式トイレ化か？
14 中学校グループ改築事業	三中は以前からの懸案事項であり、完成に向け進んだことは喜ばしい。
15 心の教室相談員事業	状況は変わらず、今後とも地道に取り組んでいく必要あり。
16 小貸教室事業	上記に同じ。人材確保や快適・適切な場所の確保が課題か。
17 学校規模適正化事業	これまでの経緯からして計画に沿って推進する必要があるうけれど、各学校の状況を勘案して対処していくことも理解できる。海陽中、三中については、状態が落ち着いてきていると感じる。部活動の活躍も見聞きする。
18 給食センター管理費	施設老朽化の問題、施設の規模の問題、調理方式の問題、直営・委託等の問題を抱えており、総合的・長期的に調査研究を続けていく必要あり。大きなトラブル発生はないと聞き、安心。
19 給食センター施設改修費	

平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書に関する概評

事務点検評価委員：平島 廣幸

	事業名	概評
20	保健体育総務費	部活が学校現場から社会体育への移行の流れがあり、指導者の確保・育成等検討・研究が必要。総合的方針策定も求められる。各種競技の実態を把握しておく必要あり。指導に課題を抱える競技もあり、実業団や上部団体などの援助等を得て、散策的でもよいので、「実技講習会」や「指導者講習会」等の開催を企画して底辺拡大、競技力向上を図る方法もある。また「スノーシュー振興の一助として、荒尾市出身の著名選手の顕彰を望みたい(ゆかりの品、植写、真、経歴や成績などの展示)。
21	運動公園管理費	現在、運動公園施設設備の管理は、よくなされていると感じる。目配り気配りが感じられ、除草等の対応も早いようだ。ただ、体館倉庫等は不要なものが多数残り、用をなしていないようなので一度整理が必要と思われる。
22	地域体育館維持管理事業	利用できる施設数が増え、市民の活動に大きく貢献している。継続して整備を。
23	地域体育館施設改修費	
24	運動公園施設改修費	必要に応じて、整備改修が進められている。長期的に見て、総合体育館の建設に向け準備的に調査研究が必要。利用の少ない施設、荒れた場所等を健康や体育、市民憩いの場として有効活用を図るため、活用策を策定し、計画的整備が必要ではないか。これほど広大な面積と設備を有する施設は、そう沢山はなく、荒尾市の大きな財産として、市外への発信をすべきではないか。
25	社会教育振興費	文化活動、青少年活動、女性団体活動等がかつてに比し、停滞しているように感じられる。講座数、構成員数、発表会・展示会、講演会、講習会等の推移はどうか。営利イベントの講座等の増の影響もあると思われるが、振興計画的な取組み、行政のテコ入れが必要と思われる。社会教育主事が長年不在とのこと、本館の全体的底上げには必要と思われるので、資格取得の促進を。
26	放課後子ども教室推進事業	今日の課題に応える良いシステムと認識。社会教育の視点からの様々な展開の可能性がある。先災に期待したい。ただ、ネットは人材確保だろうか。
27	学校支援地域本部事業	同上。学校の望むものと地域が持つニーズとのマッチングが大切で、綿密な打ち合わせが欠かせないだろう。「チーム荒尾」での教育振興に期待する。
28	中央公民館管理費	指定管理者により、長期かつ安定的な公民館運営ができる可能性あり。(職員の人事異動等による中断が避けやすい)専門性の向上、特色ある館運営を期待したい。
29	中央公民館施設改修費	図書館も含め、長期的整備計画・建設計画の策定、調査・研究を進める必要あり。
30	図書館管理費	公民館に同じ。ハード面での整備は難しい面が多いが、ソフト面(運営・事業展開など)では、工夫改善が垣間見られる。利用者の推移はどうか?利用者の評価は? 専門誌(趣味の月刊誌など)の種類が近隣市町に比し、少ないと感じている。
31	少年指導センター管理費	最近、大きな問題は引き起こされていないと聞く。日々の活動の成果と、感謝したい。
32	万田坑・専用鉄道敷設保存管理事業	万田坑関連については、整備・活用を一体的に今後とも進めていくことは必要だろう。来訪者の拡大は、一つの目標となる。いろいろな団体、産業や文化的イベントとの連携により、万田坑をよりアピールし、活用促進を。
33	三池炭鉱(旧万田坑)の世界文化遺産登録推進事業	世界遺産登録は誠に喜ばしい。認知度アップをいかに進めるか。観光や教育分野などにいか
35	文化財保護費	財産であるので、なくさないよう、傷まないように継続的対応は必要。ただ、保護するだけでなく、いかに生かすかが大事。「地域の元気づくり事業」や「オルレ」などのハイキング

平成27年度荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価報告書に関する概評

事務点検評価委員：平島 廣幸

事業名	概評
36 文化財関連施設改修	ゾコーズに組み込むなど保健、観光、教育文化等いろんな分野との連携した取り組みに期待したい。ゾコーズ標識や説明図・板などの整備も必要。
37 万田坑保存活用推進事業	
38 荒尾二造変電所跡地施設維持管理事業	
39 宮崎兄弟の生家施設管理費	いずれの施設も、専門家の意見を十分取り入れ、整備を図るとともに、見学者の増加、認知度向上に努めていただきたい。荒尾にあつて、他にないものであるもので、有効活用を。
40 宮崎兄弟の生家施設改修費	
41 宮崎兄弟顕彰事業	
43 万田炭鉱館運営費	関連の複数施設を一体的・有機的に運営することはメリットが多いと思われる。各施設が相互補完することで、機能がより高まり、利用者に喜ばれたいことを望みたい。対外的に、訪問者増を図る取り組みが必要。利用者アンケートの実施は？その結果は？
44 万田坑施設・入テージョソ管理費	
46 孫文記念館交流事業	
47 宮崎兄弟研究事業	
48 地域未来塾事業費	内外の関連施設、研究施設等と相互交流、相互研究を続けて行くことで、大きな成果が出てくると思われる。シナジー効果に期待したい。
49 文化財普及啓発事業	郷土愛の醸成や荒尾市の認知度を上げる、教育文化・観光の素材となるなど、文化財の持つ価値は高い。今後とも図られていると感じる
50 万田坑世界遺産登録に伴う集客増対応事業費	今後とも顧客(来客)満足度をいかに高めていくか、手法を考えていく必要あり。また、いかに現地に來ていただくか、その方法も研究の余地あり。
51 万田坑世界遺産登録記念事業費	基本評価オールAで、よかった。